

リレー講演「活字の学びを考える」

一 式 次 第 一

と き：2021年6月2日（水）15：00～17：00

と ころ：衆議院第一議員会館 大会議室

主 催：活字の学びを考える懇談会（公財）文字・活字文化推進機構

後 援：活字文化議員連盟 子どもの未来を考える議員連盟

学校図書館議員連盟

（一社）日本新聞協会（公社）日本書籍出版協会

（公社）全国学校図書館協議会 日本児童図書出版協会

（一財）出版文化産業振興財団

(1)ごあいさつ

細田博之氏（活字文化議員連盟会長 衆議院議員）

河村建夫氏（子どもの未来を考える議員連盟会長 衆議院議員）

笠 浩史氏（学校図書館議員連盟事務局長 衆議院議員）

(2)出席議員紹介

(3)ご報告

「デジタル教科書の検討状況と今後の読書環境整備について」

丸山洋司氏（文部科学省文部科学審議官）

寺門成真氏（文部科学省社会教育振興総括官）

(4)ご講演 1

「紙が育む記憶力・脳の創造性」

酒井邦嘉氏（東京大学大学院総合文化研究科教授）

(5)ご講演 2

「学校図書館、ICT 機器活用による情報活用能力の育成

～基礎的・汎用的能力を育むアクティブ・ラーニング～」

清水隆彦氏（荒川区立教育センター学校図書館支援室室長）

「言語で理解し、言語で表現する—『図書』も『ICT』もその手段」

小柴憲一氏（荒川区立第三中学校校長）

(6)会場からのご発言

(7)アピール（案）発表

司会 肥田美代子（文字・活字文化推進機構理事長）

【ご講演者略歴】

酒井邦嘉（さかい くによし）氏

東京大学大学院総合文化研究科教授

1964年、東京生まれ。1987年、東京大学理学部物理学科卒業。同大学院理学系研究科博士課程修了後、同医学部第一生理学教室助手。ハーバード大学医学部リサーチフェロー、マサチューセッツ工科大学客員研究員。1997年、同大学院総合文化研究科助教授を経て2007年より現職。専門は、言語脳科学と脳機能イメージング。著書に、『言語の脳科学』『科学者という仕事』『科学という考え方』（以上、中公新書）、『チョムスキーと言語脳科学』（インターナショナル新書）、『芸術を創る脳』『高校数学でわかるアインシュタイン』（以上、東京大学出版会）『脳を創る読書』『考える教室』（以上、実業之日本社）、『脳の言語地図』『ことばの冒険』『こころの冒険』『脳の冒険』（以上、明治書院）など。

清水隆彦（しみず たかひこ）氏

荒川区教育センター学校図書館支援室室長

都内区立中学校勤務、アテネ日本人学校勤務を経て、教職21年目で管理職になり、副校長6年、校長3校通算14年を歴任。2010年度全国学校図書館賞。2013年度文部科学省「学校図書館担当職員の役割及びその資質向上に関する調査協力者会議」委員、2015年度文部科学省「地域における読書活動推進のための体制整備に関する調査研究」委員。現在は立正大学の非常勤講師（教職課程）も担当。著書に『キャリア教育で変える学校経営論』（実業之日本社）など。

小柴憲一（こしば けんいち）氏

荒川区立第三中学校校長

1988年度、公立中学校教員として東京都に採用された。2003年度の管理職選考を経て、2007年度から公立中学校の副校長や校長の着任を挟んで、台東区教育委員会の指導主事・統括指導主事・教育改革担当課長兼教育支援館長・指導課長として、合計11年間勤務した。その間、各学校園が抱える問題について校園長とともに解決にあたるほか、人権教育・特別支援教育・キャリア教育・幼児教育などを専門として区内の管理職や教諭等への指導を務めた。現在荒川区立第三中学校の校長として2年目。